



安全でおいしい学校給食のために 給食調理従事者研修会 開催



研修会の様子

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。中休み頃になると、早くも「あ〜、お腹空いた!」「今日の給食は〇〇だな。」という声がよく聞こえます。2学期も給食を楽しみにしている子どもも多いことでしょう。

「安全でおいしく、栄養バランスが取れている食事といえば?」その答えの一つは「学校給食」です。富士河口湖町と鳴沢村あわせて7つの給食室（給食センター）があり、そこで、保育所、小中学校、合わせて1日約2500食の給食が作られています。

7月22日(火)、約2500食の安全・おいしさ・栄養バランスを支えてくださっている給食調理従事者の方々を対象に、研修会が行われました。今回のテーマは「調理現場の衛生管理」でした。給食は、いくつかの工程を経て出来上がります。その各工程でどのように衛生管理をすればよいかを、従事者の方々は動画を視聴しながら確認しました。その後、それぞれの給食室（給食センター）で行っている衛生管理について、情報交換をしました。工夫している点や困っている点など、各給食室（給食センター）の様子をお互いに知ることができました。そして、引き続き衛生管理を徹底していこうと意識が高まった様子でした。



情報交換の様子

安全でおいしい給食は、栄養教諭、栄養士、調理員さんたちの徹底した衛生管理と努力によって成り立っています。健康チェックから始まり、微生物を落とすための手洗い方法と手洗いのタイミング、食材の扱い、下処理の仕方、加熱の仕方、手袋の付け方、…など、衛生管理を徹底していることで、「安全でおいしい学校給食」が提供されています。今後も感謝の気持ちを忘れず、「いただきます」や「おいしかったです」「ごちそうさま」の声を届けてほしいと思います。

児童生徒給食費補助事業も継続中

子育て世代への経済的支援を図るとともに、子どもたちが心身ともに健康でたくましく成長することを目的に、本町では保育所・小中学校の給食費が完全無償化となっています。

保育所・小学生の1食分は330円、中学生の1食分は370円です。年間の給食費全額を町費で負担しています。町の子どもたちのために無償化を継続していただけるのは大変有難いことです。安全でおいしく、

調理従事者の方々の真心が込められた給食は、栄養満点です。給食をいただいているみなさん、好き嫌いなく食べて心身ともに大きく成長してください。

おいしい給食
ありがとうございます!



小立小学校 給食の様子

小立小学校 某日の給食

イカのからあげが見えなくなるほど、甘酢ソースをたっぷりかけてくれました。そんな子どもたちのサービスも、学校給食の醍醐味です。



夏休みに地域の防災について学ぼう！

ジュニア

Jr 防災士講座 開催



町では、子どもたちが防災を学ぶ機会として毎年 Jr 防災士講座を開催しています。この夏も 7 月 24 日(木)に開催し、町内小学 4 年生～6 年生 51 名が参加しました。今回の講座のテーマは「もしもに備える職場見学・体験」です。富士山科学研究所・陸上自衛隊 北富士駐屯地・富士吉田消防署を見学し、地域の防災について学びました。

富士山科学研究所

私たちが住んでいる富士北麓地域はどのような地形なのか、そしてどのような自然災害が起こり得るのかを学びました。これまで起こった自然災害を知り、今後起こった時にどのような行動をとればよいか考えました。また、特別な器具を使って実際に溶岩を作り、溶岩を流す実験を見学しました。実物の溶岩を初めて見た子どもたちは興味津々の様子でした。



また、特別な器具を使って実際に溶岩を作り、溶岩を流す実験を見学しました。実物の溶岩を初めて見た子どもたちは興味津々の様子でした。



陸上自衛隊 北富士駐屯地

災害時に人命救助、生活支援のために大活躍している陸上自衛隊の北富士駐屯地を見学・体験しました。陸上自衛隊とはどのような職業なのかを知り、災害に備えて日頃から準備・訓練をしていることを学びました。いざという時に活躍する車両に試乗したり、天幕を設営する体験をしたりしました。昼食は、北富士駐屯地を代表する名物メニュー「風林火山」(油淋鶏定食)をみんなで味わいました。自衛官の方々が優しく丁寧に接してくださり、子どもたちも楽しく体験活動ができました。

富士吉田消防署

講座の最後に富士吉田消防署に見学・体験に行きました。非常時に備えて配置されている車両や建物屋上に設けているヘリポートについて、見学しながら丁寧に教えていただきました。また、救急車に試乗し、内装を詳しく見せていただきました。「防災」という視点で消防署を見学し、人命救助のためにいざという時の“備え”が整えられていることを知ることができました。



3つの施設を見学・体験し、参加した子どもたちは非常時に備えている職業が様々あり、たくさんの方々が携わっていることを学ぶことができました。今回の見学・体験をきっかけに、災害への意識を高めてほしいと思います。災害はいつ起こるか分かりません。事前に備えをしておけば、被害や困ることを減らすことができます。ぜひ家族で「もしもの時にどうするか」を話し合ってみてください。

※『やまなし防災ガイドブック』参照

詳しくはこちらをご覧ください。➡



事前にチェック！！

- ☐ ハザードマップを確認しよう
- ☐ 災害時の連絡方法を確認しよう
- ☐ 防災グッズを備えよう
 - ・在宅避難用グッズ(自宅用)
 - ・避難用グッズ(持ち出し用)
- ☐ 水と食料を備えよう
- ☐ 災害時のトイレ対策をしよう
- ☐ 家具を固定しよう
- ☐ 正しい情報を入手しよう